

イギリスのアート戦略都市ニューカッスルゲーツヘッドで開催決定！ 東京ピクニッククラブの大規模アートインスタレーション、 「ピクノポリス」をプロデュース！

2008 年 8 月 16 日(土)～25 日(月)

Spiral Press Release
August 2008

spiral®
www.spiral.co.jp

スパイラル/株式会社ワコールアートセンターは、イギリスのアート戦略都市ニューカッスルゲーツヘッドで8月16日(土)から25日(月)まで開催するアートユニット・東京ピクニッククラブの大規模な参加型アートインスタレーション「ピクノポリス」をプロデュースします。

ピクニックの本場イギリスで「ピクノポリス」開催！

東京ピクニッククラブは、ニューカッスルゲーツヘッドが10年間にわたって推進している文化ツーリズム促進プログラム「culture10」の一環として、ニューカッスルゲーツヘッドの市街地各所で市民参加型の大規模なアートイベントを10日間にわたり開催することが決定しました。

「culture10」では、世界各地からアーティストを招聘し、都市を舞台にした多彩なアートイベントを展開し続けます。2008年は「Look EAST」をテーマに中国などアジアのコンテンポラリーアートを紹介する予定で、日本からはオノ・ヨーコ、鼓童とともに、東京ピクニッククラブが招聘されています。



アンソニー・ゴームリー「エンジェル・オブ・ザ・ノース」の足下に展開する「ベイビープレイン」(合成)



街の中心地・タイン川沿いに設置される「マザープレイン」。右手前に「ゲーツヘッド・ミレニアムブリッジ」、左手奥にノーマン・フォスター設計による音楽ホール「セージ・ゲーツヘッド」(合成)

東京ピクニッククラブは、都市生活者の基本的人権として「ピクニック権」を主張し、公共空間活用の革新を実践するクリエイター集団です。ニューカッスルゲーツヘッドで行う「ピクノポリス」では、両翼26mに及ぶ飛行機型芝生ユニット「マザープレイン」と100機の飛行機型マット群「ベイビープレイン」を用いて、都市空間を再発見する視点で選ばれた10ヶ所を連日移動しながらピクニックを行い、ピクニックの本場イギリス市民に参加を呼びかけます。現地企業とのコラボレーションによってオリジナルのピクニックレシンプが提供されるほか、ブルワリーの協力でオリジナルラベルのビールが発売される予定です。また、町中のパブのコースターがピクノポリスのオリジナルデザインに差し替えられるなど、まさにニューカッスルゲーツヘッドが夏の10日間「ピクニック都市」になります。イベントの様子は、東京ピクニッククラブのオフィシャルサイト (<http://www.picnicclub.org/>) から逐次中継する予定です。

この機会にぜひ、ご取材・記事掲載にご協力くださいますようお願いいたします。

ニューカッスルゲーツヘッド (NewcastleGateshead)

ニューカッスルゲーツヘッドは、イギリス北東部に位置する。かつて炭坑や造船で栄えた工業都市であり、アンソニー・ゴームリーの巨大彫刻「エンジェル・オブ・ザ・ノース」(1998年)を皮切りに、2001年「ゲーツヘッド・ミレニアムブリッジ」、2002年「バルティック現代芸術センター」、2005年ノーマン・フォスター設計による音楽ホール「セージ・ゲーツヘッド」など芸術文化のインフラを中心にタイン川沿岸の整備をするとともに、「culture10」と名付けられた10年間にわたる文化ツーリズム促進プログラムを推進し、都市を舞台にした多彩なアートイベントを展開し続けている。文化・観光振興だけではなく、教育、産業育成まで視野に入れたこれらの施策が、都市再生の分野では「創造都市戦略の最先端のひとつ」として注目されている。

これまでもバルティック現代芸術センターには村上隆、奈良美智、グルーヴィジョンズ、森万里子など日本の著名アーティストが招かれており、2005年には写真家スペンサー・チューニクが2000人の市民によるオールヌードの街頭インスタレーションを敢行するなど、新たな話題を提供してきた。

東京ピクニッククラブ (Tokyo Picnic Club)

都市生活者の基本的人権として「ピクニック権」を主張し、公共空間活用の革新を実践するクリエイター集団。ピクニシャン、ピクニシェンヌを名乗る建築家、都市計画家、プランナー、デザイナー、フードコーディネーター、写真家、編集者らがピクニック発祥200周年を記念して2002年に結成。ピクニックにまつわる歴史文化研究からピクニックレシピの復元、ブレンドティーやビールなどの商品開発を行うほか、ピクノサウンドと呼ばれるピクニックミュージックの選曲活動など多様な活動を行っている。また、六本木、神田、柏の葉、韓国・安養などで都市空間利用の実験プロジェクトを展開してきた。アンティークピクニックセットの世界的収集家でもあり、そのコレクションは120を超える。

この東京ピクニッククラブは、スパイラルが2000年から推進する事業開発プラットフォーム「ランデヴー プロジェクト」から生まれたアートユニットでもあり、スパイラルはその活動をサポートしている。これまでもスパイラルがプロデュースする様々なアートプロジェクト(注)でジョイントしてきている。



「ピクノポリス」シンボルマーク

注) ランデヴー プロジェクト「my sweet home」展(2003年3月@スパイラル)、「都市とあそぼう」展(2004年3月@スパイラル)、ピクニックエキスポ(2007年、2008年5月@千葉県柏市)など。

開催概要

作品名: ピクノポリス@ニューカッスルゲーツヘッド

PICNOPOLIS @ NewcastleGateshead

会期: 2008年8月16日(土)~25日(月)

会場: ニューカッスルゲーツヘッド市街地の10カ所

アーティスト: 東京ピクニッククラブ(TPC)

主催: ニューカッスルゲーツヘッドイニシアチヴ

NewcastleGateshead Initiative (NGI)

プロデュース: スパイラル

お問い合わせ

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部

〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848

E-mail press@spiral.co.jp